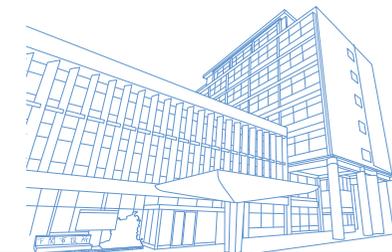


あとかき



下関市役所本庁舎本館を解体し、その跡地に新庁舎を建設するという新庁舎整備事業を進めていく中で、この本庁舎本館が建設に至るまでの経緯を振り返ることとしました。

それは昭和20年に戦災で焼失した当時の庁舎を耐火構造によるものに再建するという最初の庁舎整備事業であり、建設された本館は戦後復興の象徴としての役割を果たすものとなりました。

下関市の都市整備はこの本庁舎本館を中心に進められたことから、まさに本市の玄関として、戦後復興からの歴史を見つめてきた建物でもあります。

その後も、行政需要の増加や業務の多様化に伴い、本庁舎本館も増改築を行い、少しずつ姿を変え、市民サービスの向上に努めてきました。

庁舎は、災害時には防災拠点として市民生活の安全・安心の確保を図ることも求められています。

しかしながら、平成21年度に実施した本庁舎本館の耐震診断により、耐震強度が不足していると判定されました。

そこで、この先何十年も今と同じ場所で下関市を見守り続けることが出来るように、また下関市が希望の街となるための一翼を担えるように、本庁舎本館は新たに生まれ変わることとなりました。

新たに建設する庁舎は現在の本庁舎本館と比べコンパクトなものとなる予定ですが、これまで本庁舎本館が担ってきた役割をしっかりと引き継ぎ、今後も多くの方々に愛される庁舎となることを目指します。

最後に、この記念誌を手にとっていただいた方に、本庁舎本館の63年間の労をねぎらっていただければ幸いです。

平成30年3月

下関市総務部管財課